

# 『ふるさと納税』だより

『ふるさと納税寄附金』として、今年度は17件、316万円の心温まる寄附申し込みをいただいています(11月30日現在)。

遠方のご家族やご親戚の方にふるさと納税制度をお知らせし、ふるさと七尾との『絆』を深めませんか。

## 活用事例をご紹介します

今年度の「ふるさと納税」は、使い道を次の2つに絞って募集しています(指定なしもあり)。

皆さんから届けられた『ふるさとへの想い』が形になっています。

## 1 美しい自然環境の保全

里山里海の景観を保全・再生し、その魅力向上を図るため、能登島長崎地区の環境保全活動事業に活用しています。



## 2

## ふるさとの未来を担う人づくり

図書を購入

入し、市内4図書館に郷土出身の漫画家コーナーを設けます。(※詳細は17ページ参照)



郷土出身の漫画家コーナー(イメージ)

心の込もった「ふるさと納税」をお待ちしております。

## ●ふるさと納税って？

自分の故郷や応援したい自治体など、居住地以外の自治体へ寄附(5,000円を超える額)することで、個人住民税の一部と所得税の一部が控除される制度です。

問 ふるさと納税寄附金のお申し込み

税務課 ☎53-8414

記事に関して

企画経営課 ☎53-1117

## 七尾出身 漫画家 宮下英樹さんからメッセージ

仕事柄、取材でよく地方都市を訪れますが、大通りはほぼ都会とそんなしょくなく、悪く言えば「どこも代り映えない」景色です。が、そこから中に入り込んだ時に初めて、地方色豊かな景色や人柄に感動を覚えます。「故郷でなくとも故郷に感じてしまう何かこれは都会生まれの人ですらそう感じてしまうそうです。

先日、能登演劇堂公演の「マクベス」が大盛況だったそうで、遠くから観に来た方ほど大きな感動があったという話で、納得できる場所があります。交通の不便さを解消することよりも、「遠いけど来て良かった」と人を魅了するまちであり、人であることが重要なんだと思います。



宮下英樹(みやした ひでき)

石崎町出身。平成13年「第44回ちばてつやヤング部門大賞」を受賞し、同年「ヤングマガジン」でデビュー。平成14年～15年には『ヤマト猛る!』、平成16年～19年には『センゴク』を連載し大人気。現在その続編『センゴク天正記』を連載中。



昨年、今年と「ふるさと納税」をしていただいた宮下さんを訪問。武元市長から感謝状を贈呈。

戦国時代であれば在地領主(市長)が武功を立てて、大名から扶持(交付金)を獲得するという発展のあり方だったのでしようが、今は民主主義です、まちや市民が主役で魅力的であることが何よりだと思います。「ふるさと納税」はそんな使われ方が望ましいのだと思います。

# 平成21年度 12月補正予算のあらまし 補正予算額(一般会計) 10億7,730万6千円

## 【主な事業】

### 1. 郷土に誇りと愛着を持つひとづくり

- (1) スクールバス運行管理・・・2,740万円  
(東部、湊南、北嶺中学校の統合に必要なスクールバスを6台購入)
- (2) ふるさと納税促進啓発・・・38万7千円  
(PR用チラシ印刷、報償品ほか)

### 2. 交流を軸とした地域経済活性化

- (1) 合宿拠点整備事業・・・7億160万円  
(サッカーグラウンド人工芝3面および付属施設整備<石崎地内>  
完成予定:平成22年8月)



#### なぜ必要なの？

交流人口の拡大を図るため、平成18年度から合宿制度を設け、合宿の誘致に取り組んできました。その中でサッカー合宿の誘致に大きな成果があったので、さらに誘致を進めるために合宿の拠点を整備します。

このサッカー場は、平成22年10月に開催される「ねんりんぴっく」のサッカー会場として使用するほか、他のスポーツなどにも活用します。

- (2) 長谷川等伯没後400年記念事業・・・100万円  
(長谷川等伯没後400年記念事業実行委員会が実施する宣伝経費に対する助成)

### 3. 安全・安心なまちづくり

- (1) 新型インフルエンザワクチン接種(補助対象分)・・・2,856万9千円  
(対象:生活保護世帯、市民税非課税世帯 接種費用の全額免除 負担割合:国1/2 県1/4 市1/4)
- (2) 新型インフルエンザワクチン接種(七尾市独自助成)・・・1,895万7千円  
(対象:妊婦、満1歳～中学生まで 接種費用の負担軽減)  
1回目 3,600円(市からの助成金2,400円 自己負担1,200円)  
2回目 2,550円(市からの助成金1,350円 自己負担1,200円)  
計 6,150円(市からの助成金3,750円 自己負担2,400円)

- (3) 除雪対策事業費・・・1,050万円  
(除雪委託料、除雪機械14台借上料)



#### なぜ必要なの？

平成21年1月25日のゲリラ大雪の除雪体制の問題点を踏まえ「雪みちネットワーク」を新たに設定し、大雪時における国道、県道、市道の除雪優先路線を決めて出動体制を強化します。市内を11区域に区分し、それぞれに不足する除雪機械を補充します。

- (4) 西湊99号線道路改良事業費・・・3,605万6千円  
(土地購入費、立木補償費 松百地内)

- (5) 台風18号災害復旧事業・・・1億1,273万1千円  
(河川、漁港、社会教育施設など)

### 4. 市民生活を支える雇用創出

- 緊急雇用創出事業・・・788万9千円  
(能登和倉万葉の里マラソン周回コースの整備ほか)

